

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	1	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者軽度生活援助事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月2日	
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	三木利彦	シート作成者名	田丸宏江			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的業務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策	(3) 予防給付・介護給付の実施		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	阿波市軽度生活援助事業実施要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	介護保険の対象外である65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、日常生活上の援助が必要な者									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	軽易な日常生活の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への移行を防止します。								
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
① 外出時の付き添い												
② 食材、日用品などの買い物												
③ 住居などの清掃												
④ 調理												
⑤ 衣類などの洗濯												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標			
	利用者人数		年間の利用者延べ人数		人	目標 →	→	→	→			
						実績 265	198					
						目標						
						実績						
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考					
		国庫支出金		0 千円	千円	千円						
		県支出金		0 千円	千円	千円						
		地方債		0 千円	千円	千円						
		その他特定財源		268 千円	186 千円	305 千円						
		一般財源		2,522 千円	1,750 千円	3,165 千円						
	計(A)		2,790 千円	1,936 千円	3,470 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	628 千円	0.100 人	613 千円	0.100 人	604 千円			
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		3,418 千円		2,549 千円		4,074 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者等に援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にし、要介護状態への移行を防止するため必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者等に援助を行うことで、要介護状態への移行防止ができ有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	利用希望者(援助が必要と判断された方)について、援助できるよう対応できています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	委託料については介護報酬を基に算定しているため適当です。効率的に実施できています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	申請者や問い合わせが少ないので、事業内容の周知及び啓発(該当者のうち未利用者)活動を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	高齢世帯を把握している民生委員に事業内容の周知を行い、該当者について生活支援を促進します。					高齢者の要介護状態への移行を予防するため、日常生活支援を行い、事業内容についても周知等により、支援を必要とする高齢者の利用の促進を行います。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	2	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者緊急通報体制等整備事業	公的関与	4	シート作成日	平成23年6月2日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	田丸宏江			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3) 予防給付・介護給付の実施		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市緊急通報装置貸与事業実施要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者で、近隣に扶養義務者がなく緊急連絡を行う必要があると認められる者及び外出困難な重度の身体障害者で緊急連絡などの手段として装置の必要があると認められる者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ひとり暮らしの高齢者及び重度身体障害者に対して緊急通報装置を貸与し、関係機関及び地域住民の協力を得て緊急連絡などを確保する事業を行うことにより、ひとり暮らしの高齢者等の不安が解消できるとともに福祉の向上が図れます										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 緊急通報装置(本体+ペンダント)の貸与または給付します。														
② 通報を24時間受信し、必要な処置を講ずるとともに親族等に連絡し、その旨を阿波市、関係機関に連絡します。														
③ 必要に応じてテスト通報(試し押し)を行います。														
④ 利用者からの相談にきめ細やかに対応します。(看護師、ヘルパーなどの資格を持った者が対応)														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標		
	装置設置(概設)		総設置台数		台	目標	235	225	205	→				
						実績	223	198						
	装置設置(新設)		設置台数(月)×12ヶ月		台	目標	35	24	18	20				
						実績	20	14						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	3	老人福祉費	目	1	老人福祉総務費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算		備考						
		国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		4,625 千円	4,105 千円	4,228 千円								
	計(A)		4,625 千円	4,105 千円	4,228 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.088 人 553 千円	0.088 人 539 千円	0.088 人 532 千円								
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円										
全体事業費(A+B)		5,178 千円		4,644 千円		4,760 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の緊急通報手段として装置設置が必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の不安解消と福祉の向上対策に有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	利用希望者のうち対象者となる方には装置の設置ができています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	近隣において、事業を実施する業者がなく見積書による契約のため、今後契約方法などの協議によりコスト削減の余地があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	平成22年度末の緊急通報装置の設置台数は198台ですが、現在製造されていない機種(ER-50型以外)が、50.5%と半数を占めているため、古い機種より交換をしていく必要があります。SL機については耐用年数が7年ですが、導入より15年が経過しており交換時期が過ぎています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	SL機については、電池交換時期に新しい機種へ交換をお願いしていきます。					65歳以上のひとり暮らし等の方が安心して生活でき、又、不安の解消の為、装置が必要な方には、緊急通報の整備を今後も継続して実施していきます。又、旧SL機についても年次的に交換が必要です。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	3	基本事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	公的関与	1	シート作成日	平成23年6月8日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	東城恭子				
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的業務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		● 1 該当		平成	18 年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施		○ 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険における予防給付の対象となる要支援者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	対象者の心身の状況、環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成とともに、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行い、適切な介護予防サービス等の提供を行うことにより、対象者の心身の状態の改善を図り要介護状態となることを予防します。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 地域包括支援センターの専門職の確保と指定居宅介護支援事業所への委託により、要支援者が利用する介護予防サービス計画を作成します。															
② 介護予防サービス事業者等への関係機関との連絡調整を行います。															
③ 指定居宅介護支援事業所へ委託している予防給付のケアマネジメント業務については、適切な介護予防サービス計画の立案ができているか確認をおこないます。															
④															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標			
	介護予防プラン		介護予防プラン作成(月)×1 2ヶ月		件	目標	6000		6000		6000		↓		
						実績	5616		5430						
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計		一般会計			款	3 民生費		項	2 老人福祉費		目	4 介護予防支援事業	
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
		国庫支出金				0 千円			0 千円			0 千円	人件費のうち、嘱託職種(嘱託介護支援専門員10名分)については直接事業費に20,226千円が含まれていません。		
		県支出金				0 千円			0 千円			0 千円			
		地方債				0 千円			0 千円			0 千円			
		その他特定財源				23,519 千円			23,043 千円			23,709 千円			
		一般財源				2,862 千円			2,686 千円			2,649 千円			
	計(A)				26,381 千円			25,729 千円			26,358 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		6.000 人	37,701 千円		6.000 人	36,755 千円		6.000 人	36,267 千円				
		臨時・嘱託職種		介護支援専門員			介護支援専門員			介護支援専門員					
臨時・嘱託工数・経費		10.000 人	19,800 千円		10.000 人	19,800 千円		10.000 人	19,800 千円						
全体事業費(A+B)				83,882 千円			82,284 千円			82,425 千円					

チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	介護予防サービスを受けるのには、介護予防サービス計画作成が必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要支援認定者ごとに計画作成するため、各要支援認定者に応じたサービスが受けられ有効です。より自立に向けた質の高い計画作成に努めていくことが必要です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		要支援の状態に応じた計画が概ね作成されています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	現状の体制では計画作成がほぼ効率的にできていると思われます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	介護予防支援業務の一部については、指定居宅介護支援事業者に委託して実施していますが、委託を拒否されることもあり、地域包括支援センターでの占める割合が大きくなっており、囑託介護支援専門員の確保が重要となっています。高齢者の自立支援に向けた質の高い介護予防支援業務を提供していくことが必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	地域包括支援センターで事業を継続していくには、正規職員のみでは対応できず、今後も専門職員(囑託)の人員確保と各事業所との連携により事業の推進を行っていきます。					介護保険制度で居宅における介護予防支援が重要視され、地域包括支援センターの役割として、介護予防支援事業で介護予防プラン作成等の事務量が増加しているため、今後も高齢者の介護予防に努め支援の改善等(介護支援専門員の確保)を検討します。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	4	基本事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	公的関与	1	シート作成日	平成23年6月2日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1)高齢者サービス提供体制の充実		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法・阿波市地域包括支援センター運営協議会設置要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者・職能団体等、介護サービス及び介護予防サービス利用者・介護保険の被保険者、介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護又は相談業務等を担う関係者、地域ケアに関する学識経験者を有する者、別に定める職にある職員											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	介護保険法に定める地域包括支援センターの公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図ります。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 地域包括支援センターの設置等に関する事項の承認に関することを行います。														
② 地域包括支援センターの運営・評価に関することを行います。														
③ 地域包括支援センターの職員確保に関することを行います。														
④ その他地域包括支援センターに関することを行います。														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	運営協議会の開催数		年2回程度		回	目標 2	2	2	2					
						実績 2	2							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出金				0 千円			0 千円			0 千円		
		県支出金				0 千円			0 千円			0 千円		
		地方債				0 千円			0 千円			0 千円		
		その他特定財源				0 千円			0 千円			0 千円		
		一般財源				193 千円			163 千円			267 千円		
	計(A)				193 千円			163 千円			267 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.021 人		132 千円	0.021 人		129 千円	0.021 人		127 千円		
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円				
全体事業費(A+B)				325 千円			292 千円			394 千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	平成18年度介護保険制度の改正により地域包括支援センターが創設されたものであり、その公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図る上で運営協議会は必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	協議会を開催することによって、地域包括支援センターの運営向上につながっていきます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	高齢化が進む中で、地域包括支援センターに対するニーズが確実に増えている内容について、協議会での報告審議で役割は達成されています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	地域包括支援センターを設置する市町村は、運営協議会の設置が義務付けられており、運営協議会の構成員については、幅広く各層から選定しています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	健康福祉部内にある各種協議会・委員会等の構成員が一部重複しているため、各委員の参集に対して開催日の調整等に気をつけています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	介護保険制度の各種協議会については制度上必要な協議会であり、構成員等を選定する際に考慮し、可能な限り同日開催ができるよう調整していきます。					阿波市では、地域包括支援センターの運営については、直営方式により公平性が確保されています。 地域包括支援センターの活動方針等については、今後も運営協議会で審議をかさね、公正で中立性を維持し、運営向上を図ります。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	5	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	特定高齢者把握(生活機能評価)事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月1日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	河井ちひろ				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	介護認定を受けていない65歳以上の方で、要介護状態等となる恐れの高い虚弱な状態にあると該当した者(特定高齢者)												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	特定高齢者が要介護状態等となることを予防します。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方に介護予防基本チェックリストを提出してもらいます。															
② チェックリストで生活機能低下の疑われる方に、受診券を送り病院で生活機能検査を受けてもらいます。															
③ 生活機能低下ありの検査結果がでた場合、介護予防プログラムの参加を勧めます。															
④ 介護予防プログラムの参加前後での利用者の変化を確認します。															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標						
	特定高齢者の年間発生者数		65歳以上高齢者人口×5%		人	目標	573	570	565	565					
						実績	43	33							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業	項	1	介護予防事業	目	1	介護予防特定高齢者施策事業費		
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
		国庫支出金				98	千円			72	千円	734		千円	
		県支出金				49	千円			36	千円	367		千円	
		地方債				0	千円			0	千円	0		千円	
		その他特定財源				167	千円			122	千円	1,248		千円	
		一般財源				81	千円			58	千円	587		千円	
		計(A)				395	千円			288	千円	2,937		千円	
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.758	人	4,763	千円	0.758	人	4,643	千円	0.758	人	4,582	千円
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)				5,158	千円	4,931	千円	7,519	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
							少ない	大きい		少ない	大きい	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。			<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	国の施策である。要介護状態等となる恐れの高い虚弱な状態にある高齢者が、要介護状態等となることを予防する方法として必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。			<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。			<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。			<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。			<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	生活機能低下がみられる高齢者の早期発見、生活習慣の改善や、介護予防につなげる手段として有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。			<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。			<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。			<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			生活機能評価を受けて、生活機能低下がみられる高齢者の該当となっても、介護予防プログラムの利用につながった方が少なかったです。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。			<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない				<input type="radio"/>	あまり上がっていない		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。			<input type="radio"/>	概ね達成している				<input type="radio"/>	概ね達成している		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			<input type="radio"/>	十分達成している				<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。			<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	チェックリストの回収率が少なかったため、特定高齢者の決定者も少なく、介護予防プログラムの利用希望者も少なかったです。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。			<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。			<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	3	B	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
当面の課題	チェックリストの回収率が少ないため、回収率を上げ、特定高齢者の早期発見をし、予防事業につなげる必要があります。チェックリストの未提出者の実態把握や、チェックリストの周知を行う必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	講習会等の機会に、基本チェックリストの周知や、対象者への実施を行い、回収率を上げていきます。また、民生委員等の既存組織と連携をとり、周知・推進をし、特定高齢者の早期発見・早期予防に努めていきます。					介護予防の観点から、現在要介護状態等以外の65歳以上の対象者に、基本チェックリストの確認により、特定高齢者該当となる方への対応を今後も維持し、未確認者についても、生活機能評価の必要性を理解してもらい、早期予防に努めていきます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	6	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	通所型介護予防(運動器の機能向上等)事業	公的関与	1	シート作成日	平成23年6月1日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	三木利彦		シート作成者名	河井ちひろ				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上の者で、チェックリスト、生活機能評価を実施し、特定高齢者に該当した者で要介護状態の予防のために、介護予防プログラムの利用が必要な者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	通所介護予防事業を利用することで、運動習慣を身につけ、心身の状態を改善し、要介護状態となることを予防します。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 通所介護予防事業(運動器の機能向上プログラム等を個別計画に基づき実施)を市内事業所に委託します。														
②														
③														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	通所型介護予防事業利用者		通所型介護予防事業の利用者数		人	目標 ↑	実績 26	目標 ↑	実績 19	目標 ↑				
						目標		目標		目標				
						実績		実績		実績				
						目標		目標		目標				
						実績		実績		実績				
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	1	介護予防特定高齢者施策事業費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国庫支出金		751 千円	573 千円	1,747 千円								
		県支出金		375 千円	287 千円	873 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		1,609 千円	1,228 千円	3,701 千円								
		一般財源		602 千円	460 千円	1,399 千円								
	計(A)		3,337 千円	2,548 千円	7,720 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.404 人	2,539 千円	0.404 人	2,475 千円	0.404 人	2,442 千円					
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		5,876 千円		5,023 千円		10,162 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
							少ない	大きい		少ない	大きい	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	少ない	大きい	自身の生活機能状態を確認し、生活機能低下がみられる方に対して、通所型の予防事業を利用して、心身の状態を改善し、要介護状態となることを予防していくため、必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	少ない	大きい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ない	ある		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ない	ある
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いる	いない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いる	いない
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる	デイサービス事業所等に委託し、個別のサービス支援計画に基づき、運動器の機能向上等を図ることができます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	する	しない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	する	しない
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	できない	できる		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	できない	できる
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている		特定高齢者の該当数に対して、予防事業への参加が少なく、成果があまり上がっていない状況です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	十分達成している	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	高い	適当	デイサービス事業所等に委託して予防事業を実施していますが、利用者の自主的な介護予防や運動習慣の確立までには至っていません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高い	適当
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	できる	できない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	できる	できない
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	2	B	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	デイサービス事業所等に委託して、事業を行っていますが、介護サービスと予防事業の違いが利用者に分かりにくく、楽しいから続けて事業所に行きたいと自主的な運動習慣の確立につながらない方がみられます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	運動器の機能向上プログラムの目的を再確認することで、自立に向けた内容を検討していきます。					要介護者等以外の特定高齢者を対象に、生活機能低下の解消を目的に、計画に基づき、運動器の機能向上事業等を今後も継続するとともに、未利用者について、介護予防対策事業として利用促進していきます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	7	基本事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業	事務事業名	介護予防普及啓発事業	公的関与	1	シート作成日	平成23年6月1日				
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	三木利彦	シート作成者名	矢部美穂子						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上のすべての高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	高齢者に対して、健康教育・健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発や地域の自発的な介護予防に資する活動の育成・支援を行い、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指していきます。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 介護予防普及啓発事業(普及・啓発するためのパンフレットの作成・配布等)を行います。															
② 地域介護予防活動支援事業(ボランティア等の人材を育成するための研修、地域活動組織の育成・支援等)を行います。															
③ 介護予防一般高齢者施策評価事業(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の研修を行いその結果に基づき事業の改善を図る)を行います。															
④															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標						
	講演・相談会の開催数		月2回×12ヶ月		回	目標	30	30	30	30					
						実績	34	23							
	ボランティア育成のための研修会の開催数		年11回		回	目標	5	5	8	8					
						実績	4	11							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	2	介護予防一般高齢者施策事業費	
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
		国庫支出金				134	千円			109	千円	236		千円	
		県支出金				67	千円			54	千円	118		千円	
		地方債				0	千円			0	千円	0		千円	
		その他特定財源				228	千円			184	千円	401		千円	
		一般財源				109	千円			88	千円	189		千円	
		計(A)				538	千円			435	千円	944		千円	
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.400	人	2,513	千円	0.400	人	2,450	千円	0.400	人	2,418	千円
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)				3,051	千円	2,885	千円	3,362	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
							少ない	大きい		少ない	大きい	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者が要介護状態になるのを予防する方法として、地域で介護予防活動することが高齢者の自立した生活を維持するために必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護サポーター養成講座は、毎年募集しボランティアを育成しています。また、健康相談は対象に合わせて内容をかえています。介護予防に向けた取り組みが、主体的に実施されるような地域づくりを目指し、継続して事業を実施することで、成果がでてくると思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護予防サポーターを養成していますが、地域での活動を始めたところでまだ成果がみえていません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者が要介護状態とならないようにするために、地域で介護予防につながるような活動の支援を行うことで介護給付費の抑制につながるので、事業効果は高いと思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	A	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
当面の課題	地域で活動できるボランティアの育成に努めていますが、まだ地域で活動するまでに至っていません。					65歳以上の一般高齢者に対して、健康教育、健康相談、介護予防体操等の取り組みを通じて介護予防の知識の普及啓発により、地域社会全体での自立した生活の維持を目指し、介護予防につながる支援を継続していきます。						
改革案と実行計画	一般高齢者が自ら主体的に介護予防に取り組むような地域社会の構築をしていくために、今後も介護予防に向けた普及啓発や各種事業を継続していきます。											
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	8	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業		公的関与	1	シート作成日	平成23年6月1日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	矢部美穂子			
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的業務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		● 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		○ 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	特定高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	特定高齢者等の心身の状況、置かれている環境等に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等の適切な事業が、包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行い、要介護状態となることを予防していきます。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 課題分析(アセスメント)の実施															
② 目標の設定															
③ 介護予防ケアプランの作成															
④ モニタリングの実施															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	介護予防ケアプランの作成		特定高齢者の介護予防プランの作成の作成の件数は表示設定		件	目標	↑		↑						
						実績		26		19					
	介護予防ケアプランの評価		特定高齢者でプラン修了者		回	目標	↑		↑						
						実績		32		24					
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	1	介護予防ケアマネジメント事業費
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
		国庫支出金				8,475 千円			5,872 千円			6,709 千円	直接事業費に人件費(3名)16,762千円が含まれています。		
		県支出金				4,237 千円			2,936 千円			3,355 千円			
		地方債				0 千円			0 千円			0 千円			
		その他特定財源				4,237 千円			2,936 千円			3,354 千円			
		一般財源				4,240 千円			2,936 千円			3,354 千円			
	計(A)				21,189 千円			14,680 千円			16,772 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.083 人		522 千円	0.083 人		508 千円	0.083 人		502 千円			
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円					
全体事業費(A+B)					21,711 千円			15,188 千円			17,274 千円				

CHECK		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	特定高齢者に対して、地域支援事業を利用するためのケアマネジメントを行うために必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	計画に基づくサービス提供が確保されるよう、事業者等との調整をし、対象者の身体機能レベルの改善が図れ有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	対象者は減少していますが、対象者についてのケアマネジメント評価は概ね適切に実施されています。しかし、サービス修了後の介護予防習慣の確立までには至っていない状況です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護予防ケアプランに基づき、介護予防事業を実施し、事後のアセスメントと介護予防プランの見直し・評価を行い、特定高齢者が要介護状態になるのを予防する効果があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	2	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持		<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等							
		<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定		<input type="radio"/> 廃止/休止							
当面の課題	生活機能評価の結果等の情報把握や、日常生活の状況、生活機能低下の原因や背景を分析し、対象者に応じたケアマネジメントを行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	生活機能評価の低下について、対象者の自覚を促すとともに、介護予防に取り組む意欲を引き出し、事業修了後の介護予防習慣の確立に努めます。					特定高齢者及び要支援者が要介護状態等にならないよう、専門職員等が日常生活の状況、生活機能低下の原因等を分析し、対象者に介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、介護予防の支援の拡充を行っていきます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	9	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	総合相談事業		公的関与	1	シート作成日	平成23年6月7日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	大北真理子				
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了								
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		● 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進		○ 2 非該当		根拠法令等		介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上すべての高齢者													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	高齢者や家族関係者などから相談を受けて、高齢者の心身の状況、生活状況に必要な支援の把握をして、地域における関係者とのネットワークを構築し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるように適切なサービス指導や制度につなげて継続的専門的な相談支援を行っていきます。												
			今年度	特に独居、高齢者世帯、住民から情報のあったケースについて、情報の収集、個別訪問をし、実態把握をします。関係機関との連携強化と地域におけるネットワークの充実を図っていきます。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 地域におけるネットワークの構築															
	② 高齢者の実態把握															
	③ 総合相談支援															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標						
	相談件数		総合相談延件数		件	目標	450	450	450	450						
						実績	333	339								
						目標										
						実績										
						目標										
実績																
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	2	総合相談事業費	
	直接事業費		平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考				
		国庫支出金			3,715	千円			3,685	千円		3,727	千円	直接事業費に人件費(1名)9,261千円が含まれています。		
		県支出金			1,857	千円			1,843	千円		1,863	千円			
		地方債			0	千円			0	千円		0	千円			
		その他特定財源			1,857	千円			1,842	千円		1,863	千円			
		一般財源			1,859	千円			1,844	千円		1,863	千円			
	計(A)			9,288	千円			9,214	千円		9,316	千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.833	人	5,234	千円	0.833	人	5,103	千円	0.833	人	5,035	千円		
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円			
全体事業費(A+B)				14,522	千円			14,317	千円			14,351	千円			

チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価					
		少ない	大きい			少ない	大きい				
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	いろいろな援護を必要とする高齢者や家族への支援は必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	相談を受け、地域における適切なサービスや制度を利用することは有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		総合相談支援をすることにより、地域の高齢者が不安解消でき安心して生活を継続できます。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	相談内容に即したサービス又は制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を行うことにより効率的に支援できます。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	介護保険サービスだけでは支えきれない在宅高齢者が増えてきています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	高齢者と地域の社会資源、地域の社会資源同士をつなぐネットワークを形成していきます。					65歳以上の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるよう、総合相談事業を実施し、高齢者の状況に応じた地域におけるネットワーク(医療機関、各事業所等)の適切なサービスや利用紹介をします。また、認知対象者等の継続的な相談支援体制を構築していきます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	10	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	権利擁護事業		公的関与	1	シート作成日	平成23年6月7日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	大北真理子			
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		● 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		○ 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上すべての高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	社会福祉の援助を必要としている人々の生活を擁護するため、成年後見制度や権利擁護に関する事業を行い地域において尊厳ある生活を構築し、安心して自立生活を行うことができますようにします。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なものを5つまで)													
① 成年後見制度の活用促進															
② 老人福祉施設への措置の支援															
③ 高齢者虐待への対応															
④ 困難事例の対応															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	成年後見権利擁護に関する相談件数		1年間の相談延件数		件	目標	10	10	10	10					
							実績	10	27						
	住民及び関係者への啓発活動		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2					
							実績	7	7						
	関係機関への研修会		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2					
実績							1	1							
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	3	権利擁護事業費		
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国庫支出金		20 千円	45 千円	73 千円									
		県支出金		10 千円	22 千円	37 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		10 千円	22 千円	37 千円									
		一般財源		11 千円	24 千円	37 千円									
		計(A)		51 千円	113 千円	184 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.125 人	785 千円	0.125 人	766 千円	0.125 人	756 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		836 千円		879 千円		940 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	成年後見制度等の権利擁護を目的とするサービスや制度を活用するなど、ニーズに即した適切なサービス機関につなぎ、適切な支援を提供することが、高齢者の生活を維持するために必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	民生委員、施設、サービス関係者などの対応だけでは問題解決できない困難な場合に、専門的、継続的な観点から高齢者の権利擁護を支援することで地域において安心して生活を維持するのに有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	制度が必要な高齢者は存在するが、利用するには費用等、問題があります。しかし、地域で安心して暮らしていくためにはこの制度は必要であり、事業を継続します。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現状においては、問題解決できない事例について、行政が事業として携わることが効率的であると思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	2	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	成年後見制度が、必要な方が利用できる制度として使えるように普及啓発に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	1. 本人や家族に必要性や手続きについて説明し、申立てにつなげていきます。 2. 市民を対象に成年後見制度の講演会開催の検討をしていきます。					65歳以上の高齢者で権利擁護が必要になった方に、成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の制度に基づき、今後も相談対応を行っていきます。 高齢者の各会合や研究会を利用し、パンフレット等を配布して制度の周知・啓発を図っていきます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	11	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		公的関与	1	シート作成日	平成23年6月8日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	東城恭子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上すべての高齢者及び関係者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	主治医、ケアマネジャー、各関係機関の連携を促進することにより指導助言等を行い、包括的・継続的にケアマネジメントを実践することで、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援していきます。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 包括的・継続的ケア体制の構築															
② 地域における介護支援専門員のネットワークの活用															
③ 日常的個別指導・相談															
④ 支援困難事例等への指導・助言															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標			
	ケアマネからの相談件数		年間の相談件数		件	目標	50	50	50	50					
						実績	80	78							
	介護支援専門員連絡会		6ヶ月に1回		回	目標	3	3	6	6					
						実績	4	6							
	事業所・連絡会		年に1回		回	目標	1	1	1	1					
						実績	1	1							
DO	予算費目	会計		介護保険特別会計		款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	4 包括的・継続的ケアマネジメント事業費		
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国庫支出金		3,123 千円	6,607 千円	6,881 千円	直接事業費に人件費(1名)16,970千円が含まれています。								
		県支出金		1,561 千円	3,303 千円	3,440 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		1,561 千円	3,303 千円	3,440 千円									
		一般財源		1,563 千円	3,304 千円	3,440 千円									
	計(A)		7,808 千円	16,517 千円	17,201 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.500 人 3,142 千円	0.500 人 3,063 千円	0.500 人 3,022 千円									
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円											
全体事業費(A+B)		10,950 千円		19,580 千円		20,223 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	在宅・施設を通じて地域における包括的・継続的なケアを実施するため、医療機関を含めた関係機関との体制連携を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援等が必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	在宅と施設の連携など、地域において、多種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて包括的・継続的にケアが提供され有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域包括支援センターで実施する事業(介護予防支援、ケアマネジメント等)と関係機関の連携によりケア体制の構築が概ね図られています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各関係機関の連携促進、支援、研修会等を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができ、事業効率が高いと思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	民生委員や医療機関等、それぞれの関係機関との連携は取れてきていますが、早期に対応できるネットワークの構築が必要です。また、地域で高齢者を支えるために、サービス機関の質のきめの細かい向上を図っていくことが重要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の事業所等と高齢者との連携・インフォーマルサービスとの連携体制などの整備を図ります。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができるように、地域包括支援センターを中心に医療機関を含めた介護事業所等の関係機関と連携体系を構築し、今後も包括的・継続的ケアマネジメント事業を継続・拡充していきます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	12	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	家族介護継続支援(介護用品支給)事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月2日				
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	田丸宏江				
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了								
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		● 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		○ 2 非該当		根拠法令等		介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	在宅で要介護認定者を介護している家族(要介護4又は5、要介護者・介護者世帯ともに市民税非課税世帯)													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	紙おむつなどの介護用品を支給することにより、要介護者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ります。												
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
① 介護用品(紙おむつ、尿取りパッド)の支給(市民税非課税世帯)																
②																
③																
④																
⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標				
	介護用品支給対象者		年間の介護用品支給対象者数		人	目標	↑		↑		↑		↑			
						実績	28		37							
						目標										
						実績										
						目標										
実績																
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	5 任意事業費		
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考			
		国庫支出金				540	千円			598	千円	750				
		県支出金				270	千円			299	千円	375				
		地方債				0	千円				千円	0				
		その他特定財源				270	千円			299	千円	375				
		一般財源				271	千円			300	千円	375				
	計(A)				1,351	千円			1,496	千円	1,875					
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.140	人	880	千円	0.140	人	858	千円	0.140	人	846	千円	
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円			
全体事業費(A+B)				2,231	千円			2,354	千円	2,721		千円				

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
		○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより負担軽減が図られるため必要です。	○ 少ない	● 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上ができて有効です。	○ いえない	● いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		申請者(該当者)について、概ね支給対応できています。ただし、該当者のうち一部の未申請者についての周知が必要です。	○ 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している			○ 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			● 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	在宅で要介護者を介護している家族の負担軽減を図ることにより、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ることができます。効率的に実施されています。	○ 高い	● 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	
	当面の課題	申請者や問い合わせが年々増加していますが、今以上に該当者へ事業内容の周知(該当者のうち未申請者について)を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	介護支援専門員連絡会などで、居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行い、該当者への連絡申請を促します。					要介護者(要介護4・5)を介護している家族との在宅生活を継続可能にする施策として、低所得者世帯(市民税非課税)の支援事業として今後も事業を継続していきます。未利用者の該当者についても周知を行い利用促進を図ります。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	13	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	その他の事業(住宅改修支援事業)	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月2日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	三木利彦		シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
			主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	居宅サービス計画の作成をする介護支援専門員がいない要介護者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書の作成及び作成した場合の経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活が送れるように支援します。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由がわかる書類を作成した場合の経費の助成														
②														
③														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標				
	住宅改修の理由書作成件数		年間の理由書作成経費助成件数		件	目標	→	→	→	→				
						実績	2	2						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業費
			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			1 千円			1 千円			4 千円			
		県支出金			1 千円			1 千円			2 千円			
		地方債			0 千円			0 千円			0 千円			
		その他特定財源			1 千円			1 千円			2 千円			
		一般財源			1 千円			1 千円			2 千円			
		計(A)			4 千円			4 千円			10 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.004 人		25 千円	0.004 人		25 千円	0.004 人		24 千円			
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円				
全体事業費(A+B)				29 千円			29 千円			34 千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護認定者が自立した日常生活を送れるよう支援するため必要です	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護者の負担軽減が図れます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護認定者の地域における自立した日常生活の継続が可能になります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	他の実施主体を活用するには今以上のコストがかかります。現在の方法で効率的に実施できています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	要介護認定者を支援する事業として、今後も必要な要介護者に対して継続するとともに、居宅介護支援事業所へ事業内容を周知していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行います。					地域支援事業の中で任意事業として、該当者は少数であるが、地域における自立した日常生活を支援する施策として制度上必要なため継続していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	19	14	基本事務事業名	任意事業		事務事業名	その他の事業(成年後見制度利用支援事業)		公的関与	5	シート作成日	平成23年6月7日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	三木利彦		シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	成年後見制度の申立をする者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申立に要する経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活の支援を行います。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 成年後見制度の申立に要する経費の助成を行います。															
②															
③															
④															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標						
	制度の申立申請件数		年間の申請件数		件	目標 →	→	→	→						
						実績 0	3								
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会計		介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	5 任意事業費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国庫支出金		0 千円	8 千円	87 千円									
		県支出金		0 千円	4 千円	43 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	4 千円	43 千円									
		一般財源		0 千円	5 千円	44 千円									
		計(A)		0 千円	21 千円	217 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.002 人	12 千円	0.002 人	12 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		0 千円		33 千円		229 千円									

チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価					
		○ 少ない	● 大きい			○ 少ない	● 大きい				
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	成年後見制度の申立費用を助成することにより、高齢者等の日常生活の支援を行うため必要です。		○ 少ない	● 大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある			○ ない	● ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない			○ いる	● いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	成年後見制度の申立費用を助成することにより、該当者の負担軽減ができて有効です。		○ いえない	● いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる			○ いえない	● いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない			○ する	● しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる			○ できない	● できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		必要な該当者については、概ね対応できていますが、後見人への報酬の費用負担の問題で利用できない方もいます。		○ 目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない				○ あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している				○ 概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している				● 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	年度により該当者の有無がありますが、効率的に実施できています。		○ 高い	● 適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない			○ できる	● できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	● 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	
	当面の課題	成年後見制度と同時に事業内容の周知を行います。支援の内容が低所得者への申立て費用のみのため、後見人への報酬の費用負担の問題で事業の利用をしない方がいるため、事業内容の拡充の検討が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	各事業所及びひとり暮らしの高齢者等の方で、必要な方を対象に各種相談の段階で成年後見制度とともに事業の利用説明を行います。後見人への報酬助成を検討します。					低所得者の高齢者に地域支援事業の任意事業として、成年後見制度の利用が必要な該当者に対して、申し立てに必要な経費を助成していきます。				
委員会指摘事項											